

# 水稻生育情報 (No.3)

令和7年7月29日  
茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

本年の5月から7月第4半旬までの気象は、日平均気温が平年より1.9℃高く、特に6月第4半旬～7月第2半旬は平年より4.2～5.0℃高い状況が続きました。降水量は平年比109%、日照時間は平年比108%でした。

7月22日時点の管内の水稻定点ほ場における「コシヒカリ」の生育状況は、草丈は平年よりやや高く、莖数は平年並、葉色は淡くなっています。出穂予測日は、平年より早くなる見込みです。

7月22日に気象庁が発表した「向こう3か月の天候の見通し関東甲信地方(8月～10月)」によると向こう3か月の気温は高くなると予想されるため品質低下(千粒重の低下や白未熟粒の増加)等の低減に向けて栽培管理に注意してください。

熱中症の危険性も高まりますので、高温下での長時間作業を避け、こまめな水分と塩分の補給や休憩を取ることに加え、単独での作業を避ける、家族や従業員等が定期的に巡回を行うなどの対策等に十分留意してください。

表1 水稻生育調査結果(7月22日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	莖数 〔本/m〕	葉色 〔葉色板〕〔SPAD値〕	幼穂長 〔mm〕	出穂予測日 〔月日〕
筑西市	5月7日	50	102	355	2.8 28.7	7/20出穂始め	7月23日
一本松	(5月5日)	(56)	(96)	(416)	(3.6) (33.5)	(127)	(7月29日)
桜川市	5月9日	52	103	368	3.2 30.0	118	7月28日
真壁町飯塚	(5月6日)	(51)	(95)	(446)	(3.5) (32.3)	(101.1)	(7月30日)
下妻市	5月3日	46	109	484	3.4 28.8	7/19出穂始め	7月22日
加養	(5月1日)	(47)	(100)	(471)	(3.8) (33)	(191)	(7月24日)

※ ( ) 内は令和2年～令和6年の5カ年平均値

※出穂予測日の平年値は、過去5カ年出穂日の平均値。

※出穂予測日は今後の天候により前後する場合があります。

## 【これからの栽培管理のポイント】

### 1 水管理について

間断灌漑で根の活性を維持することで高温登熟による白未熟粒、胴割粒等の発生防止が期待できます。間断灌漑は、数日周期で入水と自然落水を交互に繰り返します(図1)。

また、早期落水は登熟不良、胴割れ粒発生の原因となります。落水は出穂後30日以降に行いましょう。

### 2 斑点米カメムシ類防除について

7月上旬現在、県下全域において斑点米カメムシ類の発生量が平年より多くなっています(県病害虫防除所、病害虫発生予察注意報第1号)。管内でも、7月中旬現在、早生品種や出穂期が早い中生品種作付けされた一部のほ場において、斑点米カメムシ類が集中的に飛び込んでいます。7月下旬の航空防除を実施しないほ場では、特に注意してください。

8月中旬以降に出穂期をむかえるほ場でも飛び込みが集中する可能性あるため、注意が必要です。

薬剤による防除適期は、不稔の発生防止であれば出穂期～穂揃期、斑点米発生防止であれば乳熟期(出穂後10～15日頃)です。

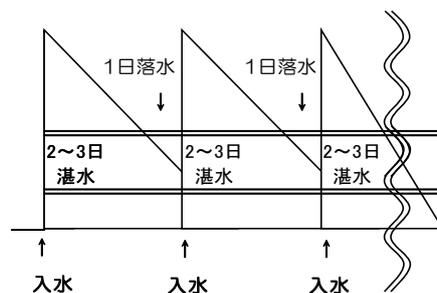


図1 出穂期以降の間断灌漑

### 3 適期収穫について

早刈りは千粒重が軽くなり、収量を低下させるとともに、玄米への青未熟粒の混入割合が増えて、落等要因となることがあります。一方で、刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米・着色粒の発生が増えて、早刈りと同じく落等要因になり得ますので、適期収穫を心がけましょう。

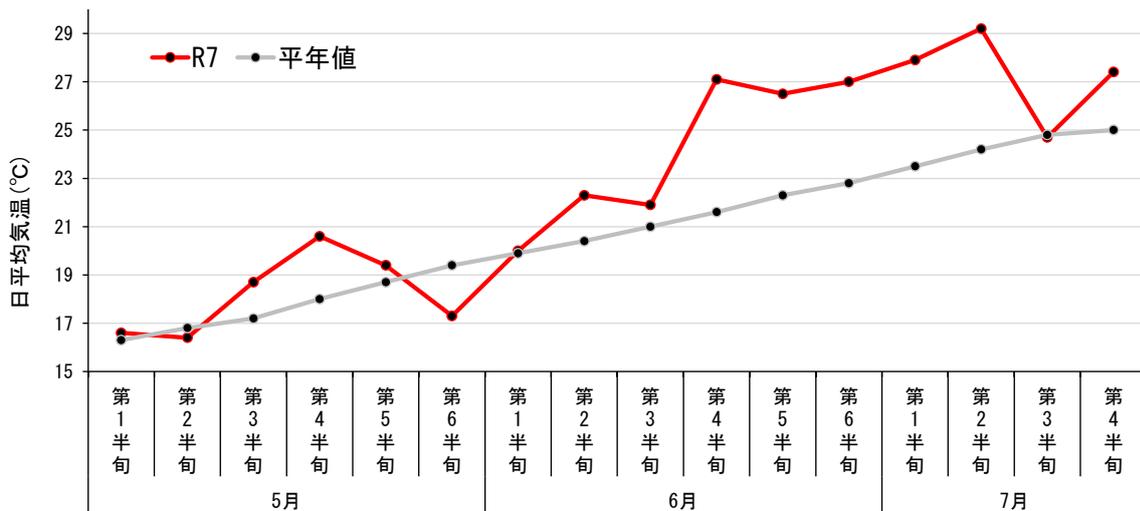
ほ場で直接籾の色（帯緑籾率）を確認して適期収穫に努めて下さい。収穫適期は帯緑籾率が10%になってから5日間です（図2）。



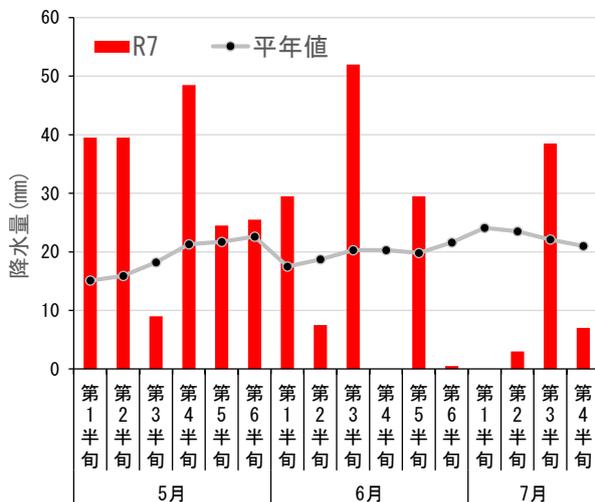
図2 帯緑籾と黄化籾の判別（左）、帯緑籾率と成熟期前日数（右）

参考（気象データ：アメダス下館地点。平年値は1991～2020年の値。）

#### ①日平均気温



#### ②降水量



#### ③日照時間

